

沖縄の伝統食材を上手に活用し、再び健康長寿県に。

医療法人陽心会プレゼンツ

お茶やカクテルにして 気軽に栄養素を摂取



権田 憲士
ごんだ けんし

医療法人陽心会大島中央病院院長代理
1969年愛知県生まれ。2001年に福島県立医科大学医学部卒業。
同附属病院第二外科、福島県立大野病院、兵庫医科大学などを経て、18年に大島中央病院勤務。19年より現職。福島県立医科大学特任教授。医学博士。

今月は、オオイタビに関する研究が英国の栄養学ジャーナルで紹介された医師と、沖縄食材を勉強している前泡盛の女王の登場です。沖縄の健康長寿復活に期待する、興味深いセッションになりました。

オオイタビに関する論文が 英国のジャーナルに掲載

砂邊私は宜野湾市にある表千家の教室で茶道を学んでいます。権田先生の研究されていいるオオイタビも、お茶のようにしていただきことで健康に良いとお聞きして興味を持ちました。まず今回の研究についてお話しただけます。

権田オオイタビは民家の石垣や壁などを被覆している、街中でよく見かけるクワ科の植物です。研究のきっかけとなつたのは、当院に検診で来た方から「オオイタビに血

圧を下げる効果があるかもしない」とお聞きしたことです。その方のお話では、かつて本島北部地域を中心に日常的にオオイタビがお茶代わりに飲用されていたそうですね。最近はそのような風習も時代と共になくなってきたそうですが、その話を聞いて研究を進めるにしました。

砂邊具体的にはどのような研究を行つたのですか。

権田当院には多くの企業や個人の方が定期検診でいらっしゃいます。その中で高血圧や脂質異常症、肝機能障害、痛風などにおいて、数値が少し高めで薬の処方を必要と

しない方を対象に調査に協力いただける方を募りました。倫理委員会を通して調査を開始し、対象となる方に外来で来院いただき、オオイタビを1日あたり約200g×300ミリリットルのお茶にして飲んでいただけました。

砂邊結果はいかがでしたか。

権田この調査は対象者の高血圧と脂質異常症などに対するオオイタビの葉の与える影響に焦点を当てたものですが、3ヶ月後にはコレステロール値が明らかに改善されました。また肥溝度を表す指数であるBMIの低下により、ダイエット効果があることでも分かります。この調査結果はオオイタビの持つ抗酸化作用が寄与していると思われ、動脈硬化を予防して糖尿病のリスクを低下させる可能性があることを示唆しています。

砂邊その研究成果は論文としてオンラインで掲載されたそうですね。

権田はい。イギリス栄養士会が発行している栄養学に関するオンラインジャーナルの8月26日発行号に掲載されました。私の同僚で薬剤師の鈴木幸一さんや沖縄県参事の岸本義一郎さん、福岡大学教授の勝本之昌さん、福島県立医科大学の竹之下誠一理事長にもご協力いただき、論文に仕上げました。この論文はオープンアクセスになつていて、世界中のどなたでも閲覧が可能です。

砂邊私は先ほど申し上げたように茶道を学んでいるのですが、オオイタビの葉で応用できそうなことはありますか。

権田砂邊さんは普段、乾燥させた茶葉を粉末した抹茶でお茶を点てていると思いま

すが、オオイタビであれば生のままで手間をかけずに飲むこともできます。例えばオオイタビの新芽を摘んで軽く水洗いし、茶碗に入れてそこにお湯を注ぎます。

茶会などで披露すると、目新しい感じで喜ばれるかもしれませんよ。薄い緑色できれいな色合いでし、何より健康に良いです。

砂邊なるほど。ありがとうございます。実は私は、昨年「泡盛の女王」として1年にわたり県内外で泡盛をアピールしてきました。

砂邊お酒との相性はいかがでしよう。

権田お酒特に泡盛との相性は抜群だと私は思っています。泡盛は蒸留酒ですから糖質やプリン体を含んでいませんし、低カロリーもあります。また泡盛の製造に欠かせない黒麹菌には、活性酸素を除去することができるポリフェノールの一種も含まれています。

砂邊ドロドロした血液をサラサラにするプラスミンという酵素の量が増えるという研究報告もあるようですね。

権田そうですね。飲み過ぎなければ脳梗塞や筋肉梗塞を予防する効果も期待できるといふことです。オオイタビの新芽を浮かせれば見た目もきれいで、少量なら漬してモヒートのようにして飲むのもいいと思います。

砂邊いいですね。泡盛は日本で唯一熟成させられる文化を持つお酒で、寝かせれば寝かせるほどまるやかで味わい深くなるんですよ。泡盛は年々出荷量が減少していることもあり、国税事務所や沖縄県酒造組合は飲み方の一例として泡盛カクテルを推奨しています。今のお話のように健康に良い飲み方が提案できれば、これまでと違ったアピールができるそうです。

沖縄と福島がタッグを組んで 肥満解消の研究

砂邊先ほどお話ししたいた論文には、この研究が「沖縄・福島肥満プロジェクト」の一環として行われたと掲載されています。プロジェクトについてご説明願えますか。

権田このプロジェクトは、共同執筆者として名前を挙げた私の上司である福島県立医科大学の竹之下理事長と医療法人陽心会の高良健理事長のやりとりからスタートしました。かつて健康長寿として知られていた沖縄県は今や全国有数の肥満県となっています。また福島県も2011年の震災以降、運動量の低下や食生活の変化、ストレスなどが原因でメタボリック症候群が増加し、厚生労働省の調査によると2015年で全國ワースト3位になっています。そこで福島と沖縄がタッグを組んで肥満の解消に資する研究を行い、その成果を臨床現場で応用していくということです。

砂邊とても素晴らしい取り組みだと思いました。私は沖縄の長寿を取り戻す活動をしていきたいとずつと思っていました。泡盛の募したのも、いろんな人の出会いを通して沖縄のことを学べるのではないかと思つたからです。昨年は「沖縄食材スペシャリ

スト検定」の資格も取得しました。

権田沖縄は健康食材の宝庫といわれていますね。

砂邊この資格は、沖縄の長寿を支えてきた伝統食材に関する正しい知識を身につけて、その良さを理解しようというものです。島野菜はもちろん、畜産、海産物など幅広い知識が求められます。「地産地消」という言葉がありますが、沖縄の在来食物をもう一度見直して、上手に活用していきたいと思っています。

権田なるほど。ゴーヤーはよく知られていますが、先ほどお話ししたオオイタビのほかにも月桃、ハンダマ、桑、長命草、ユキノシタなどフラボノイドが豊富な野菜が沖縄にはたくさんあります。また近年、カーブチーやシークワーサーなどの柑橘類にも抗酸化作用を中心にはさまざま効用が期待されています。あと動物性の食材でいうとエラブウミヘビ。これも琉球王朝時代から健康維持に活用されている、沖縄の伝統食材です。

砂邊そうですね。沖縄には長寿のために利用できる食材がたくさんあります。私はこれからも勉強を重ねて沖縄の健康長寿に少しでも貢献していきたいと思っています。

権田定期検診の結果を年齢別や企業の業種別で分析していますが、その結果を見ると、やはり沖縄は働き盛り世代の肥満を1日早く解消しなければいけないと強く思いました。これからも、引き続きさまざまな研究を取り組んでいきたいですね。

砂邊本日はいろいろと勉強になりました。ありがとうございました。

権田こちらこそありがとうございました。

医療法人陽心会グループ

医療法人陽心会 社会福祉法人陽風会

理事長 高良 健

有限会社ヘルスサポート
取締役 高良 まき子



医療法人陽心会グループ

医療法人陽心会 社会福祉法人陽風会

理事長 高良 健

有限会社ヘルスサポート
取締役 高良 まき子



医療法人陽心会グループ

医療法人陽心会 社会福祉法人陽風会

理事長 高良 健

有限会社ヘルスサポート
取締役 高良 まき子



医療法人陽心会グループ

医療法人陽心会 社会福祉法人陽風会

理事長 高良 健

有限会社ヘルスサポート
取締役 高良 まき子

